



下呂市 坂鼻未来遺産 小坂の滝めぐり

第五十七号 NPOの法人飛騨小坂二の滝
令和六年六月 〇五七六・六三・二二二五

新緑の景色がとこも美しい季節です。そんな中かんだ公園には、



本年より飛騨小坂

観光協会事務局を拜

命ました(株)大清の遠藤

勝と申します。

飛騨小坂地域全体を盛り上げ

ていただく精一杯頑張ります。

どうぞよろしくお願ひします。

一、飛騨小坂

さわやかウオーキング

高山本線全線開通90周年

に合わせて、丁K東海と連携し

てわやかウオーキングを九月十四日

(土)に開催します。

二、飛騨小坂御嶽マラソン

フルマラソン 四三km

ウルトラマラソン 一〇〇km

飛騨小坂地域の魅力の一つは

標高差が生み出す自然景観です。

日本一過酷な二標高差を生かす

十月十三日(日)に飛騨小坂御嶽マラ

ソンを実施いたします。

みなで飛騨小坂地域に

活気をもたうましよう。

どうぞご協力よろしく

お願ひいたします。

飛騨小坂観光協会事務局長

遠藤 勝

海外からのお客様もたくさんいらしてやるようになりました。案内所の当番は、

そのお客様にかり寄り貼るある世界地図を指差し「Where are you from?」(どの国

からいらしましたか)と声をかけます。そしてミールを世界地図に貼ってもらうの

ですがどの方も満面の笑みを楽しそう。心が通じる瞬間です。英語のポイントを渡し

「Have a good time.」(この時間と季節は過ごし下さい)と声をかけ三ツ滝へと送り出します。こんな

会話が楽しく充実した一日となります。とてもいいひとときです。

ところで今年度はグラントデザイン(小坂の滝めぐりの計画)を押し進め町づくり協議

会と協働し町の活性化を目指していきます。そして楽しい企画ツアーも計画して

いきますので多くの方々に参加して頂けるよう発信していきます。

どうぞよろしくお願ひします。 理事長 塔越 真佐代

今年の小坂の滝めぐりには、大きなムーブメントが二つあります。一つ目は根尾の滝

遊歩道吊り橋の復旧です。二〇二六年の水害で被災寸前だった吊り橋が

この度掛け直す運びとなりました。完成予定は今秋十月初旬を見込んで

います。合わせて遊歩道整備やその周辺のみならず、かんだ公園からの

滝めぐりの道標・案内板など刷新する予定です。また根尾の滝の吊り橋の

資材は全て人力で谷底まで下ろすため、荷下ろし隊の募集も行う

予定です。具体的な日にちが決まり次第また広くご案内させて頂きます。

そして皆様にお願ひがございます。根尾の滝遊歩道初の滝めぐりの遊歩道

は、NPOの日頃の維持管理では限界があり、危険箇所や安全対策や費用をかけた

十分な補修が行えていない箇所がたくさんあります。下呂市や岐阜県森林管理所

のお力添えをいただいています。かまた対応できていない場所が多数のが現状です。

今回根尾の滝遊歩道に当たって吊り橋の費用は、下呂市に負担して頂くこと

となりました。しかし遊歩道の修繕については、予算が不足しています。そこで

今中小坂の滝クラウドファンディングに挑戦することになりました。ぜひ皆様にも協

力いただきたく募集開始の際は是非ご支援をお願い申し上げます。皆さんの

力で小坂の滝めぐりを快適にそして、次世代に繋いでいきましょう。

熊崎 油



小坂なウォークラリー

今年も夏が始まります。

そう、シマワークライミングの季節です。ウエットスーツに身を包み全身で小坂の清流を楽しむ小坂なウォーククライミングは流れに負けないよう滝を登ったり天然のウォータースライダーも滑ったり。滝壺めがけて飛び込んだり...まさに大人も子どもも本気で遊び、それはもうアドレナリン全開です。装備は全てレンタルなので水着がめれば水ノ、気軽に本格アドベンチャーが体験できちゃいます。夏の思い出作りにいかがでしょうか。

開催期間 二〇二四年七月日から九月八日

料金 通常価格 九九〇〇円(おひとり)

※ハイシーズン 二一,〇〇〇円(おひとり)

※七月二十日から八月二十五日(詳細はWebで)

九時半集合 十三時半解散

ガドバギに坂道遊び

新緑の森から「フルルルル」アカショウビンがさえずります。今年も小坂に渡ってきました。二匹のチセキレイがぶつかり合いダンスをしているかのようです。かんだて公園に場所をかえると「スイーッ、チキチキ」とエゾハルゼミが鳴いています。遠くでオオルリがさえずり「チギョ」とカケスが叫びバードウォッチャーがぶりそそぐ季節です。溶岩台地のハイキングなどは、ホシキの花がかんざしのように咲き、ハンショウヅルが赤く可憐な花を咲かせています。コアジサイの花のいい香り。沢沿いに咲くサワキクタンゴの花は魅了されます。この夏はハイキングの醍醐味です。

立岩滝でフリークライミング?! (5/14 観音滝ルート点検)

「おい、バッテリー残ってきこー」先輩からの指差し「はい」と大声で答えたものの、どうやって滝壺まで行けばいいのかわからない。ここは観音滝近くの立岩滝。今日は滝壺に立つ大岩に足場を作る作業。さて困った。ここから滝壺まで先輩方二人がどのルートをとったのか、全く見ていなかった。よし、ここは自分でルートファインディングと思ひ立マ。

滝壺まで両岸とも岩壁。昨日までの雨で水量も多く、歩ける河原はない。川を遡るのは膝上まで浸かりそう。濡れずに行くには...。石の岩壁なら行けるかも。さっそく壁にとりつく。手をかけられる岩の突起を探して三点で支所。空いた手足で一歩ずつ進んでいく。滑る川に落ちてくも大したことはないが...。バッテリーを濡らすわけにはいかない。変な使命感も相まってコレが何ともスリリング。

一カ所だけ足が届かず、エイヤッとジャンプ。フいに滝壺までたどり着いたときの達成感と言ったら...。滝からのしぶまでベタベタになって作業している先輩方の横で一人ニヤニヤしている自分だった。あからぬいたら、先輩方は膝上まで浸かり川を遡上したとのこと。なんだ一人が勝手にアドベンチャーしてたのか。この日は作業の隙間で滝壺までのナメトルほどのフリークライミング往復二回を楽しめた。

この滝の活動に参加して三年目。未だに滝へのルートも草花のこともよく分かってはいないが自分なりの楽しみ方を見つけて参加させて頂いている。御嶽の自然に遊ばせてもらえることに感謝。



咲かせています。コアジサイの花のいい香り。沢沿いに咲くサワキクタンゴの花は魅了されます。この夏はハイキングの醍醐味です。

開催時間 九時半から十五時
料金 四、四〇〇円(税込)+協賛
集合場所 かんだて公園